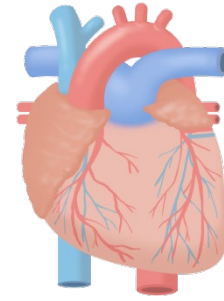
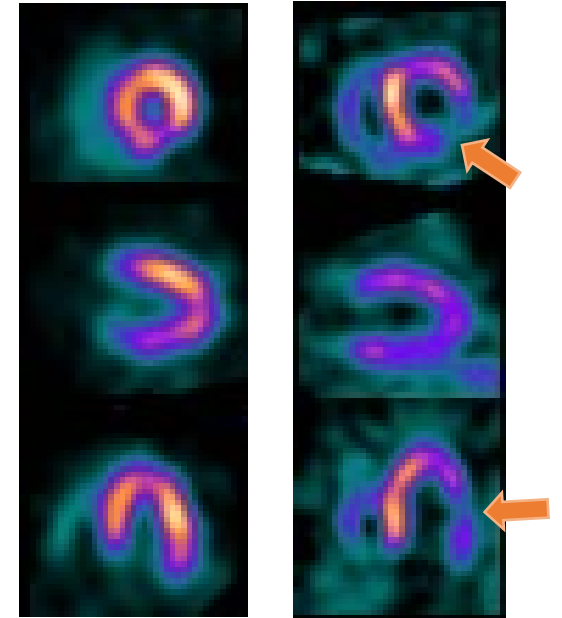


心筋シンチグラフィ検査



正常例

異常例



◆検査の特徴

- 静脈注射で体内に放射性医薬品を投与し、その分布をガンマカメラで撮影します。血流や代謝を画像として捉えます
- 造影剤を使いません
- 腎臓にも負担がかかりません
- 専用の設備・機械が必要です

◆検査の種類

負荷心筋シンチ…狭心症や心筋梗塞といった虚血性心疾患の有無を診断します

安静心筋シンチ…負荷がかけられない患者さんの虚血性心疾患の評価や心筋症の診断に用います

アミロイドーシス診断目的のピロリン酸シンチなども行っています。

◆ 負荷心筋シンチ

- 運動負荷、運動併用薬物負荷、薬剤負荷のいずれかで負荷を行います。負荷方法は当日負荷を担当する循環器医師と相談して決まります
- 運動はエルゴメーター(据え置き型自転車こぎ)で行います
- 運動時間は5-15分程度です
- 検査前の注意



① カフェイン含有の食品(コーヒー、お茶類、チョコレートなど)を

48時間禁止していただきます

② 内服薬は通常通り可能です

ただし糖尿病薬は処方している医師にご相談ください

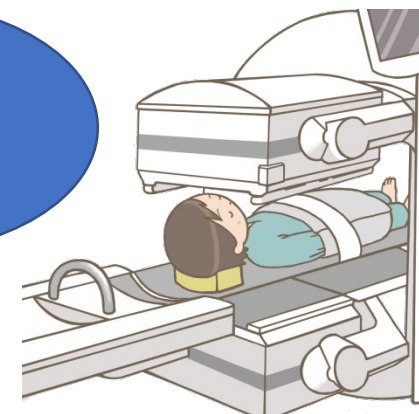
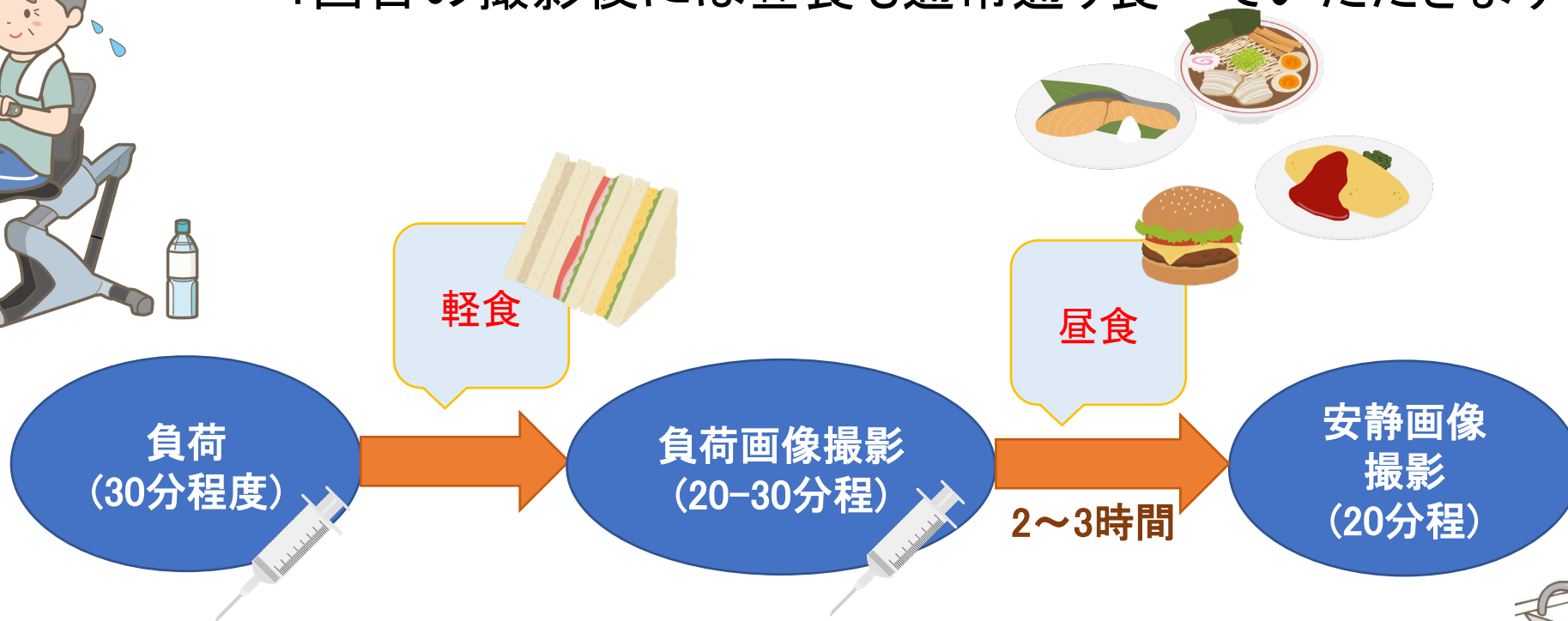
気管支喘息治療中の方は治療薬名を

検査室に事前に申告頂きます

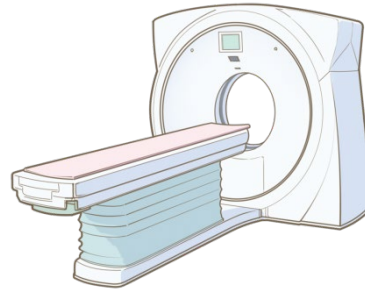


心筋シンチ検査の流れ

- 半日ほどかかる検査です
- より良い画像のため食事に関する注意事項があります
- 負荷と1回目撮影の間に軽食を食べていただきます
- 1回目の撮影後には昼食も通常通り食べていただきます



冠動脈CT検査

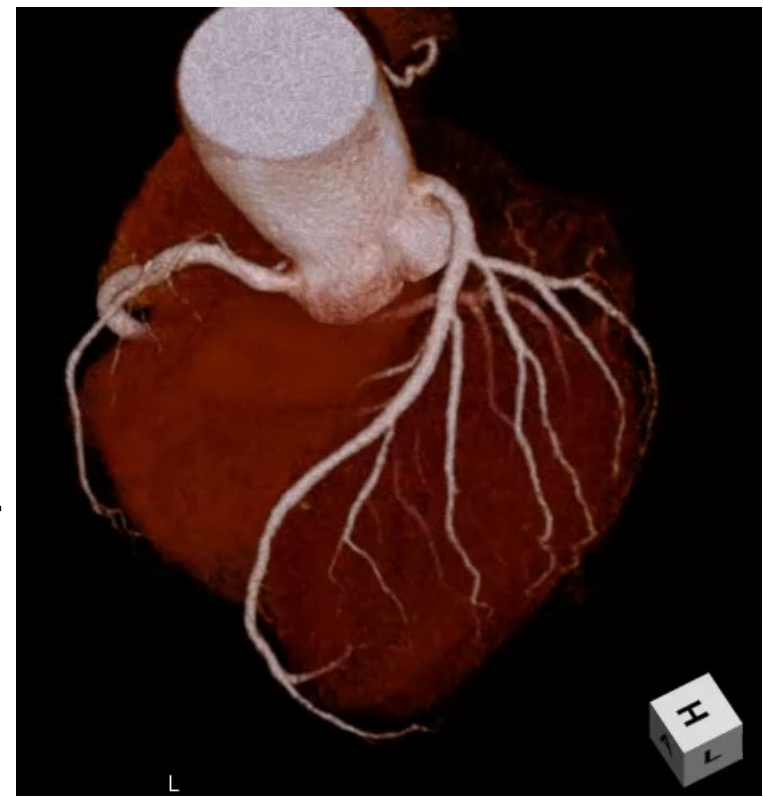


◆検査の特徴

- 主に冠動脈を観察するための検査です
- 検査時間が比較的短時間で済む(シンチグラフィと比較)
- 造影剤を使用する必要があります
- 3D画像として冠動脈を描出するため一般の方にも結果がわかりやすい検査です
- 心拍数が規則正しく、ゆっくりである方がブレのない画像が撮影できます

◆注意事項

- 腎臓の悪い方には行えない検査です
- 造影剤によるアレルギー歴がある・気管支喘息の治療中の患者さんには原則行いません
思い当たる方は外来へ前日までにご連絡ください
- 糖尿病の内服薬(メトホルミン製剤)は検査前後48時間中止していただく必要があります
- その他の糖尿病薬の内服についても処方している医師に当日の内服について相談していただく必要があります
- 当日の昼食は12時までに終わるようにしてください



CT検査当日の流れ

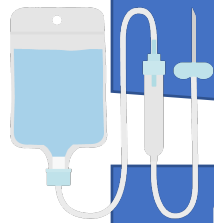
①問診・同意書の確認・血圧と脈拍数測定

②内服による心拍数の調整



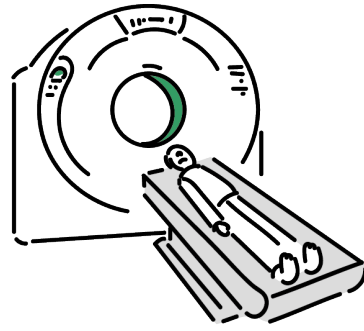
③検査着への着替え

④撮影(20分程)



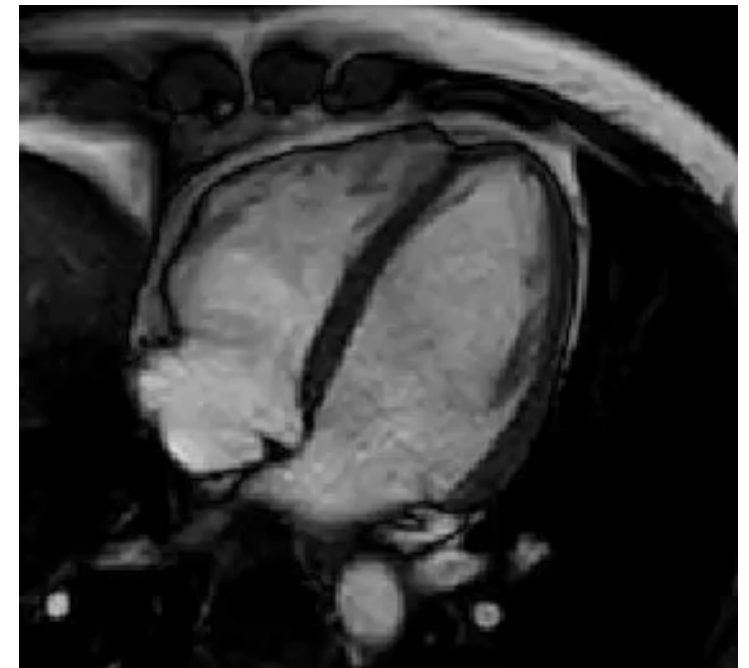
- 脈拍数に応じて心拍数を下げる薬(メプロロール酒石酸塩)を内服をして頂くことがあります。
- 内服後、脈拍が落ち着くまで待ち時間が発生します(そのため撮影の順番が前後する可能性があります)
- 撮影中は心電図をモニターしながら行います
- 息どめ(10~20秒程)をしっかりとしていただくことで綺麗な画像になります
- 検査後は水分(水・お茶)を多めに飲んでいただき尿から造影剤の排泄を促します(飲水制限がある方は申し出てください)

心臓MRI検査

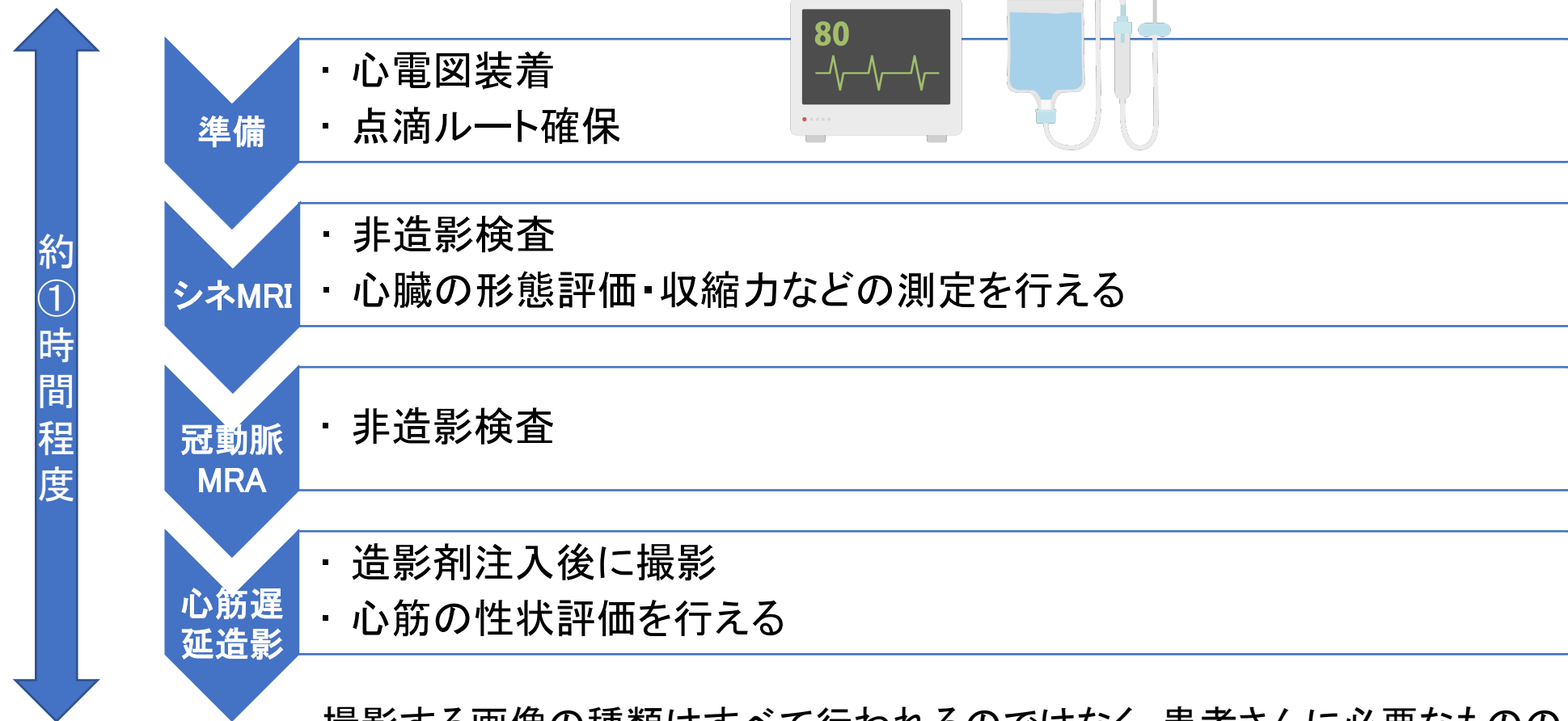


◆検査の特徴

- 主に狭心症・心筋症・心筋炎の診断目的で行います
- 放射線被ばくがありません
- 撮影時間は1時間程度です
- 撮影中、息止めを繰り返す必要があります
- 静脈注射で造影剤を使用する場合があります
- 腎機能が悪い方は検査方法に制限があります
- 閉所恐怖症の方、体内金属がある方は検査を受けられないことがありますので、事前にお伝えください。



心臓MRI検査の流れ



撮影する画像の種類はすべて行われるのではなく、患者さんに必要なもののみ行われます